

問1 使い終わった後に、もう一度新しい製品の材料として作り変えることができるごみのことを何と言いますか。

1. 有害ごみ                      2. 粗大ごみ                      3. 資源化物                      4. 不燃ごみ

問2 川から取り入れたばかりの水は、そのままでは飲めません。安全に飲めるようにするために、水をきれいに処理する施設のことを何と言いますか。

1. 取水所                      2. 配水池                      3. ろ過場                      4. 浄水場

問3 台所から出る油や生ごみをそのまま下水道に流してはいけない一番の理由は何でしょう。

1. 下水道管の掃除をする人が、油や生ごみの処理を嫌がるから      2. 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから      3. 下水処理場は、どんなものでもすぐに分解してきれいになるから      4. 油や生ごみは、下水道料金を高くするものになるから

問4 家や学校で使ったあとのよごれた水は、どこへ運ばれてきれいに処理がおこなわれますか。

1. 下水処理場                      2. 浄水場                      3. 給水所                      4. ダム

問5 エネルギー源を燃やして、その熱で電気を作り出す方法を何と言いますか。

1. 太陽光発電                      2. 火力発電                      3. 水力発電                      4. 風力発電

問6 私たちが家庭で使う水は、川から直接流れてくるのではなく、必ず浄水場を通るようになっています。なぜ、わざわざ浄水場できれいにする必要がありますのでしょうか。

1. 川の水の温度を家庭で使いやすいように上げるため      2. 川の水の流れを速くして、家庭まで早く届けるため      3. 川の水を一度ためておかないと、すぐに売り切れてしまうから      4. 川の水には泥や目に見えない汚れがふくまれているから

問7 清掃工場でごみを燃やすとき、空気中に有害な物質が広がらないようにするために、どのような工夫をしていますか。

1. ごみピットの中に空気が入らないようにしている      2. クレーンでごみを細かくしてから燃やしている      3. はいガス処理装置で有害な物質を取り除いている      4. ごみを燃やす前に水で洗っている

問8 火力発電で使われる石油や石炭などの化石燃料を使い続けると、将来どのような問題が起きると考えられていますか。

1. 燃料が枯渇する                      2. 火力が弱くなる                      3. 地球が寒くなる                      4. 電気がすぐになくなる

問9 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。

1. 肥料として農家で使われる      2. また燃やして電気を作る      3. 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる      4. そのまま川や海に流す

問10 リユースを進めることで、どのような良い効果がありますか。

1. 新しい製品をたくさん作ることができる      2. ごみを小さくして埋め立てる場所を増やす      3. ごみの量を減らし、資源を無駄にしない      4. ごみを燃やすことで電気を作る

問11 日本で水力発電が昔からさかんに利用されてきた理由は、どのような自然環境があるからですか。

1. 雪がほとんど降らず、冬でも川が凍らないから      2. 山が多く、雨もよく降るため水が豊かだから      3. 平らな土地が多く、川がとても穏やかだから      4. 砂漠が多く、水がとても貴重な場所だから

問12 工場から出る「工場排水」について、工場が守らなければならない大切なルールは何でしょう。

1. 工場から出る排水は、すべて地下に深く埋めて捨てる      2. 工場排水は、どんなに汚れていても川へ直接流す      3. 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す      4. 工場が支払う税金で、下水処理場をいつも動かし続ける

問13 私たちがごみを減らすために、まず「リデュース（ごみそのものを減らす）」を意識することが大切なのはなぜですか。

1. リサイクルをするよりも、リデュースのほうが面白いから      2. ごみを出したあとの処理が一番楽だから      3. ごみそのものが出なければ、そのあとの処理の手間やエネルギーもいらなくなるから      4. リサイクル工場が足りなくなっているから

問14 料理をする時の火や、お風呂のお湯をわかす時の熱など、生活に必要なエネルギーをすべて「電気」だけでまかなう住宅のことを何と言いますか。

1. エネルギー工場                      2. スマートハウス                      3. エコ住宅                      4. オール電化

問15 家庭で「ふろの残り湯」を洗濯に使うのは、なぜ水資源を守るために良いことなのでしょう。

1. 一度使った水を捨てずに有効活用することで、新しい水道水を減らせるから      2. 残り湯を使うと、洗剤をたくさん使わなくて済むから      3. お湯を使うほうが、服の汚れがよく落ちるから      4. 洗濯機を冷やすために、お湯の温度が必要だから

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え 3</b> 資源化物	スチール缶や新聞紙、ペットボトルなどは、適切に分別して出すことで、再び鉄や紙、服などの材料として生まれ変わることができます。このように、再び資源として再利用できるごみのごみを資源化物と呼びます。
問2	<b>答え 4</b> 浄水場	浄水場は、川から取った水にまざっている泥や汚れを取りのぞき、消毒をして家庭へ送るための大切な施設です。私たちが毎日安心して水を使えるのは、この施設があるおかげです。
問3	<b>答え 2</b> 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから	油や生ごみをそのまま流すと、管の中で固まって詰まりの原因になったり、下水処理場の浄化能力を超えてしまい、十分にきれいにならないまま川や海へ流れて環境汚染を引き起こしたりします。下水道は魔法のように何でも消せる場所ではなく、一人ひとりの意識が大切です。
問4	<b>答え 1</b> 下水処理場	私たちが使った水は、地下にある下水道管を通して「下水処理場」へ集められます。そこで水をきれいにする処理をしてから、川や海へ放流することで、地域の水環境を守っています。浄水場は、逆に川の水をきれいにして飲み水を作る場所なので、混同しないようにしましょう。
問5	<b>答え 2</b> 火力発電	石炭や石油などの燃料を燃やすことで出る熱を利用して電気を作る方法を火力発電といいます。水力発電は水の流れを、太陽光発電は太陽の光を、風力発電は風の力をそれぞれエネルギー源として利用しています。
問6	<b>答え 4</b> 川の水には泥や目に見えない汚れがふくまれているから	川から取り入れた水には、土や砂、目には見えない小さな生き物などのよごれがふくまれています。そのままでは飲むことができないため、浄水場でこれらの汚れを取りのぞき、消毒をしてから私たちの家へ送っているのです。
問7	<b>答え 3</b> はいガス処理装置で有害な物質を取り除いている	ごみを燃やすと煙やガスが発生しますが、そのまま外に出すと環境によくありません。そのため、清掃工場には「はいガス処理装置」があり、有害な物質をしっかりと取り除いてから、きれいな空気にして外へ出しています。
問8	<b>答え 1</b> 燃料が枯渇する	地球上にある石油や石炭などの燃料は、無限にあるわけではありません。人間が使い続けると、いつかなくなる（枯渇する）可能性が高いため、新しいエネルギー源を探ることが大切になっています。
問9	<b>答え 3</b> 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる	ごみを燃やすと、燃え残った灰が発生します。この灰の一部はセメントの材料などにリサイクルされますが、リサイクルできない残りの多くは「最終処分場」と呼ばれる埋め立て地に運ばれて埋められます。
問10	<b>答え 3</b> ごみの量を減らし、資源を無駄にしない	物を大切にすることで繰り返し使うことで、本来ごみになるはずだったものを減らすことができます。これにより、新しい物を作るために使う資源の消費を抑え、限りある資源を効率よく使うことにつながります。
問11	<b>答え 2</b> 山が多く、雨もよく降るため水が豊かだから	水力発電には、高い位置から勢いよく流れる水が必要です。日本は山地が多くて高低差があり、雨もよく降るため、この発電方法に適した自然環境が整っています。
問12	<b>答え 3</b> 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す	工場から出る排水には、普通の生活排水とは異なる汚れが含まれていることがあります。そのため、環境を守るためには、工場がしっかりと汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流すというルール（責任）があります。
問13	<b>答え 3</b> ごみそのものが出なければ、そのあとの処理の手間やエネルギーもいらなくなるから	ごみが出てからリサイクルするのも、実は多くのエネルギーや手間がかかります。一番の解決策は、そもそもごみを出さないように工夫すること（リデュース）です。
問14	<b>答え 4</b> オール電化	オール電化とは、家の中で使うエネルギーをすべて電気にまとめる仕組みのことです。台所での料理や、お風呂の給湯にガスや灯油を使わず、電気のみだけで生活を行うのが特徴です。
問15	<b>答え 1</b> 一度使った水を捨てずに有効活用することで、新しい水道水を減らせるから	私たちが家庭で使う水道水には限りがあります。一度お風呂に使った水をそのまま捨ててしまうのではなく、もう一度洗濯に利用することで、新たに使う水道水の量を減らすことができます。このように、資源を無駄にせず繰り返し使う工夫は、地球の限られた水資源を守るために非常に重要な取り組みです。